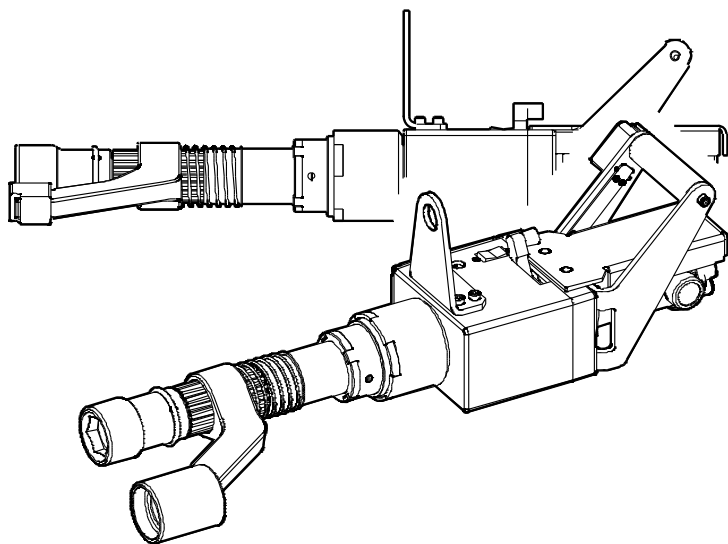


### 取扱説明書

INSTRUCTION MANUAL No. 1708

型式名

8-90TWSA / 8-90TWST  
8-90TWSC68A / 8-90TWSC68T  
8-90TWSC10A / 8-90TWSC10T



### ⚠ 警告

- 製品をご使用される前に、取扱説明書をお読み頂き、理解していただいた上でご使用ください。
- 取扱説明書は、いつでも読めるように所定の場所に大切に保管してください。
- 取扱説明書の表紙に記載している型式は、日本国内での使用に限定させていただきますので、ご了承ください。日本国外での使用につきましては、保証できません。

The models described on the front page of the instruction manual can only be used in Japan. Cannot be used outside Japan.

## はじめに

この度は、**電動タイヤレンチ**をお買い上げ頂き、  
まことにありがとうございます。

■まず、下記事項をご確認ください。

- 輸送途中で破損した箇所がないか。
- ねじ・ボルトに脱落・緩みがないか。
- 注文通りのものが入荷しているか。
- 付属品は、全部揃っているか（P. 14 参照）。

万一、不具合な点がございましたら、お買い求めの販売店あるいは弊社営業所までお申し付けください。

■製品をご使用される前に、取扱説明書をお読みください。

人身事故や故障を未然に防ぐためにも、取扱説明書の内容を理解していただいた上で、ご使用ください。また、ご使用方法を熟知された方、すでにお読みになった方も、ご使用前には、今一度取扱説明書をお読みください。

■お読みになられた後は、いつでも読めるように備え付けの保管袋に、大切に保管してください。

■万一、取扱説明書および警告ラベルを紛失・破損された場合、または保管用として別途、取扱説明書をご入用の方は弊社営業所までお申し付けください。

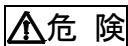
お買い求めの製品や取扱説明書の内容について、不明な点がございましたら、お買い求めの販売店、または弊社営業所までお問い合わせください。

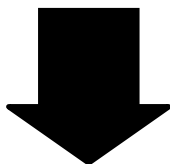
■取扱説明書に記載しております内容は、日本国内においてのみ有効とさせていただきます。ご了承ください。

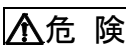

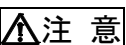
日本国外での使用に付きましては、保証できません。

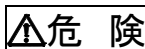
The models described on the front page of the instruction manual can only be used in Japan. Cannot be used outside Japan.

## 注意文について


注意文の  危険  警告  注意 の意味について



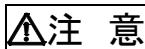
■ご使用上の注意事項は  危険  警告  注意 に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

 危険

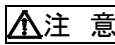
誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容のご注意。

 警告

誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 注意

誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に区分した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。

いずれも安全に関する重要な内容を記載してありますので、必ず守ってください。

## 目 次

1. 用 途	4
2. ⚠ご使用上の注意事項	4
3. 部品名称および付属品	14
4. ご使用前に	16
5. 部品の交換方法 プロテクタ/ソケット/出力ユニット	18
6. 操作方法	23
7. 保守点検	33
8. 特 長	35
9. 仕 様	36
10. アフターサービスについて	36

⚠印の項目は重要事項ですので、よくお読みください

## 1. 用途

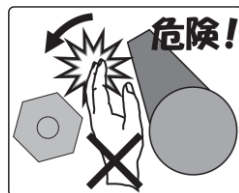
- トラックやバスなど大型車のホイールナットのトルク制御締結を目的とする電動レンチです。
- 出力ユニット  
先端に締付け対象に応じたソケットを装着し、電動タイヤレンチ本体に装着して使用する出力伝達装置です。  
ボルト・ナットを締付ける出力部と、締付け時に生じる反力を隣接するボルト・ナットで受ける反力受で構成されています。  
反力受は、レバー式とカップ式（JIS6-8 穴用、ISO8-10 穴用）があります。

## 2. ⚠️ ご使用上の注意事項

- 火災・感電・けがなどの事故を未然に防ぐ為に、次に述べる「注意事項」を守ってください。
- ご使用される前に、この「注意事項」をお読み頂き、指示に従って正しくご使用ください。
- 車両のボルト／ナット／ホイールを点検し、異常がないことを確認のうえ本電動レンチをご使用ください。

## ⚠️ 危険

- 作業中、ソケットの反力受に手や指、および足などを近づけないでください。
  - ソケットの反力受があたる箇所に手や指、および足などがいないか確認し作業してください
  - 反力受はボルト／ナットの回転方向に対し、逆の方向に回転しますので、ご注意ください。手・指・足のけがの原因になります。





## 警告

### ●反力受は、安定した箇所<sup>①</sup>に正しくあててください。

○万一、傷つきやすい箇所しかない場合は緩衝板(鉄板など)で保護し安定させてから作業してください。

また、緩衝板はすべて飛ばないように、確実に固定してください。

○8-90TWSA/8-90TWST のプロテクタ付き反力受はプロテクタが確実に装着されているか確認してから作業してください(P. 18 参照)。

締付け不良・ボルト／ナット／ホイールの破損・けがの原因になります。

---

### ●感電に注意してください。

○雨中や雪中、および濡れた所、湿った所では、使用しないでください。

感電・火災・漏電の原因になります。

---

### ●接地(アース)と共に感電防止用漏電遮断器が設置されているかどうか確認してください。

○漏電遮断器は、定格感度電流15ミリアンペア(mA)以下動作時間0.1秒以下の電流動作型をご使用ください。

感電・火災の原因になります。

参考資料:漏電遮断器や接地については、次の法規があります。

ご参照ください。

- ・労働安全衛生規則
- ・電気設備技術基準
- ・電気設備技術基準の解釈

 警告

●コードは、定期的に点検してください。

○万一、損傷している場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。

感電・火災の原因になります。

●使用中は、電動レンチ本体を両手で確実に保持してください。

○電動レンチは締付けが完了すると自動的に停止します。  
自動停止直前に反力が大きくなりますので、両手で確実に保持してください。

けがの原因になります。

●ガソリン・ガス・シンナー・ベンジンなど引火性危険物がある場所では、使用しないでください。

○スイッチは、開閉時に火花を発生します。  
また整流子モータは回転中に整流火花を発生しますので、引火性危険物がある所では使用しないでください。

爆発・火災の原因になります。

●アース線は、ガス管に接続しないでください。

爆発・引火の原因になります。



## 警告

### ●無理に使用しないでください。

○電動タイヤレンチや付属品は、その能力範囲内で使用してください。

無理な使用は、電動タイヤレンチや付属品の損傷をまねくばかりでなく、ボルト／ナット／ホイールを損傷させ、事故・けがの原因になります。

---

### ●プロテクタ／ソケット／出力ユニットは、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

取り付けが不完全であると、けがの原因になります。

取り付け方法は、『部品の交換方法』(P. 18～P. 22)の項目をご覧ください。

---

### ●不意な始動は避けてください。

○電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて持ち運ばないでください。

誤って起動する恐れがあり、けがの原因になります。

---

### ●次の場合は、電源プラグを電源から抜いてください。

- 使用しない場合
- 付属品を交換する場合
- 点検・整備を行う場合
- その他、危険が予想される場合

不意に起動し、けがの原因になります。





## 警告

### ●分解・改造をしないで下さい。

分解や改造は、感電・火災・故障・けがの原因になります。

▲但し、下記消耗品は必要に応じて交換してください。

ソケット／Oリング／ピン／カーボンブラシ／止めねじ（全機種）  
プロテクタ（8-90TWSA / 8-90TWST）

### ●使用しない場合は、メタルケースに収納し、所定の場所に保管してください。

○乾燥した場所で、子供の手の届かない所あるいは、鍵のかかる所に  
鍵を掛けて保管してください。

故障および、誤操作・事故の原因になります。

### ●運転中に異常音・振動・異臭などを感じた場合は、ただちに使用を中止し、差込みプラグを電源から抜いてください。

○お買い求めの販売店、あるいは弊社営業所までご連絡ください。

感電・火災・けがの原因になります。

### ●ご使用になる前に、下記の点検を行ってください。

○ソケット／出力ユニット／電動タイヤレンチ本体／コード／電源プラグ／  
コネクター／アース線／アースクリップ／メタルケース／止めねじ／  
ドライバー／プロテクタ／その他の部品などに、変形・亀裂・破損などの異  
常がないか点検してください。異常がある場合は、使用しないでくださ  
い。

○ソケット・出力ユニットが電動タイヤレンチ本体に正常にセットされている  
か、確認してください。

感電・火災・やけど・けがの原因になります。

**警告**

- 修理のご用命は、お買い求めの販売店、あるいは弊社営業所までご連絡ください。

電動タイヤレンチ本体、出力ユニットの修理知識および技術力のない方が修理されますと、性能を発揮できないだけでなく、事故・けがの原因になります。

- 電源は、銘板表示の電圧で使用してください。

火災・やけど・破損・けがの原因になります。

- ご使用の際には、アース線を接地してください。

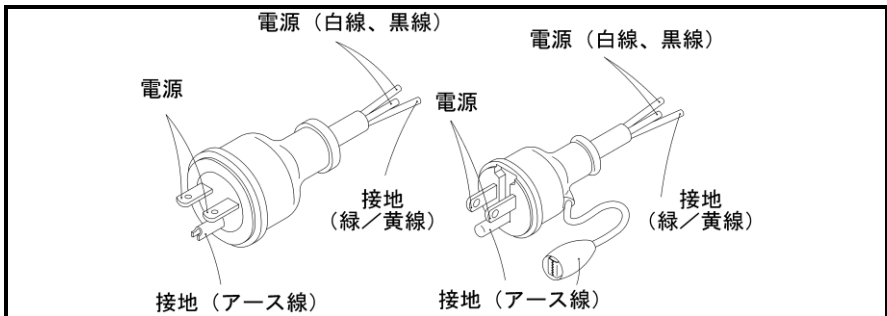
○本電動タイヤレンチは、二重絶縁構造ではありませんので接地(アース)してください。


感電・火災の原因になります。

- 延長コードは、アース線を備えた3心コードを使用してください。


○1本をアース線として用い、電動タイヤレンチ側のアースに接続してください。

アース線のない2心コードですと、感電の原因になります。




 注意

- 電源はできるだけ商用電源をご使用ください。
- 延長コードを使用する場合は、その端末での電圧が表示電圧の±10%以内であることを確認してください。
- 発電機を使用する場合は、下記の点にご注意ください。
  - 電源は50-60Hzの高調波を含まない正弦波をご使用ください。  
高調波を含んでいる電源を使用されますと、電動タイヤレンチの誤動作あるいは故障の原因となります。
  - 十分余裕のある容量の発電機を採用してください。  
通常、電動タイヤレンチ1台あたり2kW(2kVA)程度を見込んでください。
  - 電圧は表示電圧の±10%以内となるように設定してください。
  - スローダウン機能は使用しないでください。  
(スローダウン機能: 発電機に負荷が掛からない状態で低回転にする機能)  
電動タイヤレンチの誤動作、あるいは故障の原因となります。
- エンジン溶接機(ウエルダー)の補助電源は使用しないでください。
  - 電動タイヤレンチの制御器を破壊する可能性があります。
  - エンジン溶接機の機種・状態によってはノイズを発生するものがあります。  
この場合、電動タイヤレンチが正常に制御できなくなる場合があります。
- 電動タイヤレンチを使用している周辺で溶接機を使用しないでください。
  - 別の発電機に接続された溶接機であっても、電動タイヤレンチを使用中に溶接機が使用されると、電動タイヤレンチの制御器が異常な電磁ノイズを受けたり、接地側が悪影響を受けるなどして、電動タイヤレンチが正常に動作しなくなる場合があります。

 注意


- 作業場は、いつもきれいに保ってください。
  - ちらかった場所や作業台で使用されると、事故の原因になります。
  
- 子供を近づけないでください。
  - 作業者以外に電動タイヤレンチやコードに触れさせないでください。
  - 作業者以外を作業場に近づけないでください。
  
- 作業する場所の安全を確認してください。
  - 常に足場をかため、身体の安定を保って作業してください。
  - コードを物に巻き付けしないでください。
  - コードで足を引っかかないよう、注意して作業してください。
  - 作業場は、明るくしてください。
  
- 作業に適した機種選定をしてください。
  - 能力範囲外で使用しないでください。
  - 用途以外に使用しないでください。
  
- 作業に適した服装で作業をしてください。
  - 屋外での作業の場合は、ゴム手袋と滑り止めのついた履物をご使用ください。
  - 作業現場に入る時は、ヘルメット・帽子などを正しく着用してください。
  
- 付属品は、当社純正品をご使用ください。
  - 本取扱説明書・弊社カタログに記載されている付属品の交換は、当社純正品をご使用ください。

事故・故障の原因になります。

 注意

- コードは乱暴に扱わないでください。
  - コードを持って電動タイヤレンチを運ばないでください。
  - コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
  - コードを加熱される所・油等が付く所・傷が付く所には、近づけないでください。
  
- モータの通風を良くしてください。
  - モータの通風口に異物を差し込まないでください。
  - モータの通風口を物で覆わないでください。
  
- 念入りに手入れをしてください。
  - 使用の際は、握り部および握り手を常に乾いた状態に保ち油・グリス等が付かないようにしてください。
  
- 電源プラグのタコ足配線をしないでください。

火災の原因になります。

 注意

- 電動タイヤレンチ1台毎に感電防止用漏電遮断器を設置してください。

設置されていない場合、感電・火災の原因になります。

- 延長コードは、太さに応じて下記の最大長さ以下でご使用ください。

コードの太さ 導体公称断面積	最大長さ	
	100V	200V
1. 2.5mm <sup>2</sup>	10m	20m
2. 0mm <sup>2</sup>	15m	30m
3. 5mm <sup>2</sup>	30m	60m

- 延長コードに使用する接続コネクタは下記のものをお勧めします。

100V用	明工社(株) ME2624	15A 125V (または同等品)
200V用	明工社(株) ME2628-N	15A 250V (または同等品)

- 騒音に関する法・条例を守ってください。

各都道府県の条例で定める工場・事業所で使用する場合は、周辺に迷惑をかけないように、各条例で定める騒音規制値以下でご使用ください。

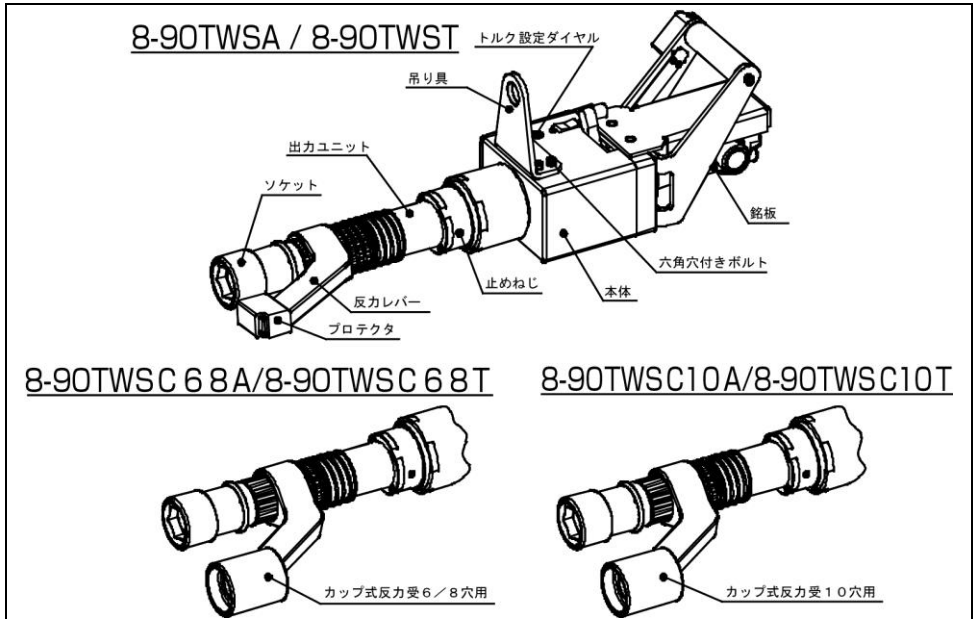
必要に応じて、遮音壁を設けてください。

### 3. 部品名称および付属品

8-90TWSA / 8-90TWST

8-90TWSC68A / 8-90TWSC68T

8-90TWSC10A / 8-90TWSC10T



型式名	本体型式	出力ユニット	ソケット	付属品
8-90TWSA 8-90TWST	90TWSAB 90TWSTB	TWLB	ホイールナット コンビソケット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・差替スタビードライバー</li> <li>・メタルケース</li> <li>・取扱説明書</li> </ul>
8-90TWSC68A 8-90TWSC68T	90TWSAB 90TWSTB	TWL8HB	8ED-4121L	
8-90TWSC10A 8-90TWSC10T	90TWSAB 90TWSTB	TWL10HB	インパクト用 タイヤソケット 8A-33T	

- 各型式間の電動タイヤレンチ本体は共通です。  
装着する出力ユニット(反力受)の違いで3種類に区別しています。

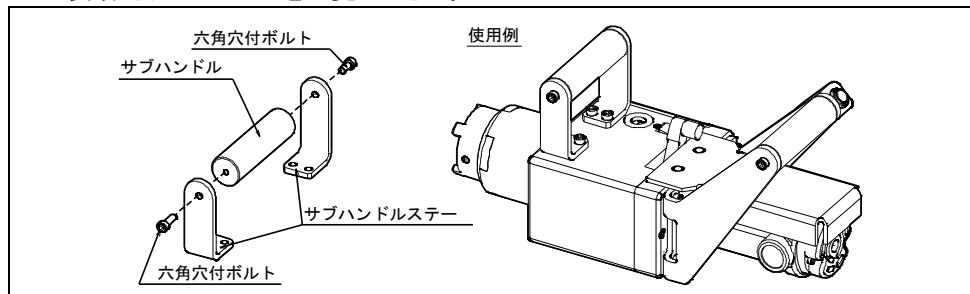
## オプション

- サブハンドル
- デジタルク (型式:DT9TW)

### ○サブハンドル

電動タイヤレンチを両手で持つ際にご使用下さい。

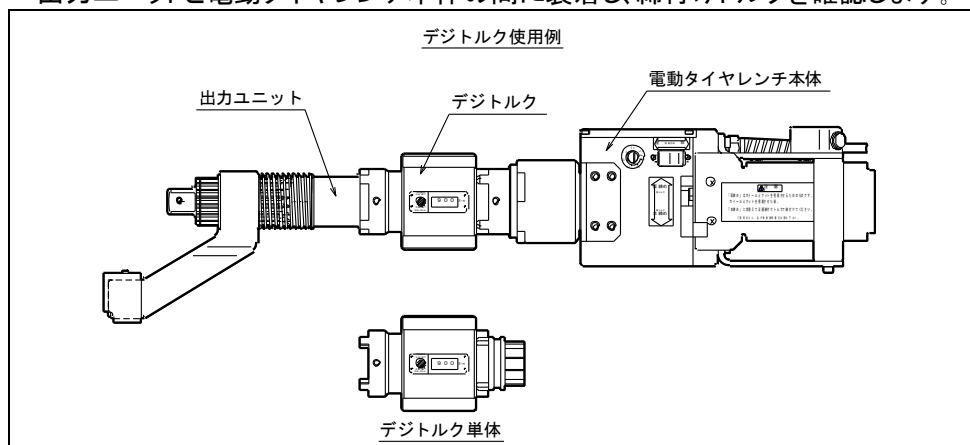
装着方法はP. 22をご覧ください。



### ○デジタルク

電動タイヤレンチの締付けトルクを確認するトルク表示器です。

出カユニットと電動タイヤレンチ本体の間に装着し、締付けトルクを確認します。



デジタルクを使用される際は、電動タイヤレンチへの取り付け方法、操作方法等はデジタルクの取扱説明書に記載されておりますので、デジタルクの取扱説明書もあわせてお読みください。

- 付属品・オプションについての詳細、その他不明な点については、お買い求めの販売店、または弊社営業所へお問い合わせください。



## 4. ご使用前に

### 1. 電動タイヤレンチ本体の点検

電動タイヤレンチ本体／出力ユニット／部品などに、変形・亀裂・破損などの異常がないか点検してください。

異常がある場合は、使用しないでください。

出力ユニットを接続している止めねじがしっかりと締まっているか確認してください。

万一緩んでいる場合は付属の差替スタビードライバー(－)でしっかりと締付けてください。

詳細は『部品の交換方法』(P. 18～P. 22)を参照してください。

### 2. 電源の確認

銘板に表示してある電源でご使用ください。

### 3. プロテクタの確認 (8-90TWSA／8-90TWST)

反力受に取り付けてあるプロテクタがなべねじで確実に取付けられているかどうか確認してください。

万一緩んでいる場合は付属の差替スタビードライバー(＋)でしっかりと締付けてください。

詳細は『部品の交換方法』(P. 18～P. 22)を参照してください。

### 4. ソケットの選択

締付けるボルト／ナットのサイズに応じたソケット(ピン・リング含む)をご用意ください。

ソケットの差込角(凹四角)は25.4mmのものをご使用ください。

### 5. ソケットの装着

ソケットに付属の『ピン』と『リング』でレンチに確実に取付けてください。

取付けた後はソケットが本体から外れないことを確認してください

詳細は『部品の交換方法』(P. 18～P. 22)を参照してください。

## 6. レンチの吊り下げ方法

吊り具を本体に固定している六角穴付きボルト(4本)が確実に締付けられているか確認し、バルンサー等に吊り具の穴を利用して吊ってください。

バルンサー等の取り扱い・調整方法は各バルンサーの取扱説明書に従ってください。

## 7. 暖機運転

精度のよい締付けを行うために、作業前に暖機運転を行ってください。

また、気温10℃以下の低温状態であった場合、レンチが起動しないことがあります。

起動しない場合は以下の操作を行ってください。

- ①トルク設定ダイヤルを最大にする。
- ②無負荷の状態、暖機運転を5分以上行う。
- ③トルク設定ダイヤルを目標トルクにあわせ、起動する。

### 警告

- 上記1. ~6. の事項は差込みプラグを電源に差込む前に確認してください。

不意に起動し、けがの原因になります。

## 5. 部品の交換方法

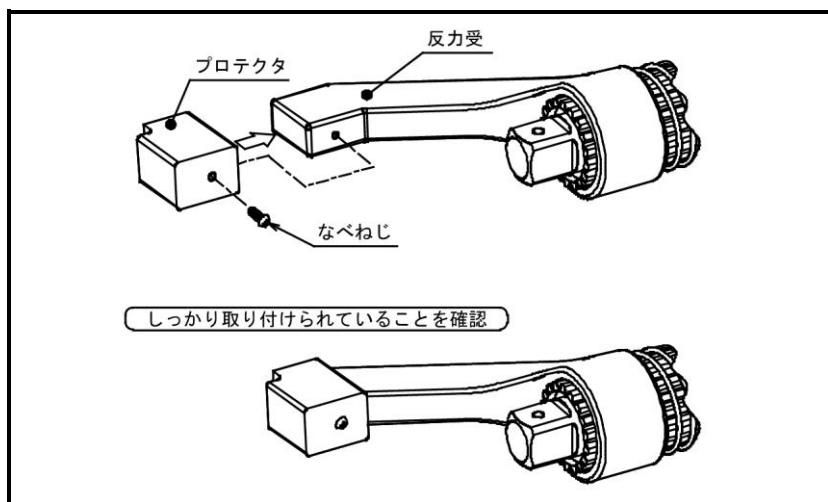
### ●プロテクタ（8-90TWSA／8-90TWST）

プロテクタはボルト／ナット／ホイールに反力受による傷を付けにくくするためのものです。

○プロテクタの装着は下図のように、反力受に対して前から被せ、なべねじを付属の差替スタビードライバー（+）でしっかりと締付けます。

※『プロテクタ』を付けずに作業されますと、ボルト／ナット／ホイールに傷を付けますので、『プロテクタ』を装着して作業してください。

○プロテクタを取り外す際は、なべねじを付属の差替スタビードライバー（+）で緩めて取り外してください。



### ⚠ 警告

#### ●プロテクタは消耗品です。

プロテクタは樹脂製ですので使用するに従い、傷が付きます。傷が深くなり、亀裂・欠け等の異常が見つかった場合には直ちに使用中を中止し、新品（有償）と交換してください。

ボルト／ナット／ホイールの破損・レンチの損傷およびけがの原因になります。

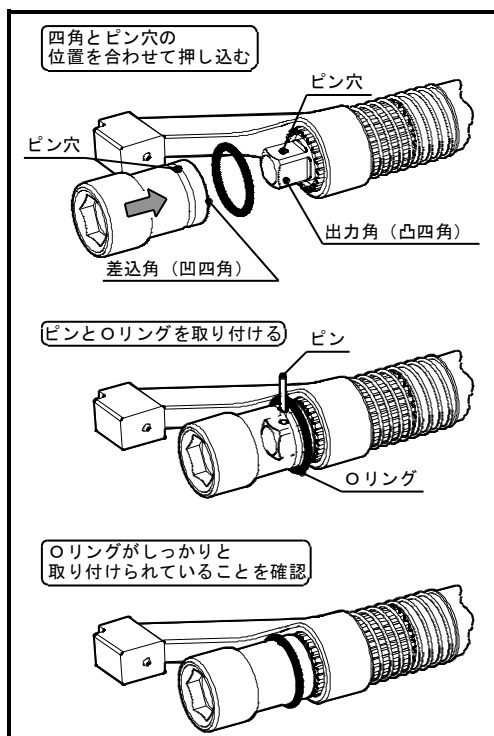
## ● ソケットの取り付け (全機種)

○レンチの出力角(凸四角)とソケットの差込角(凹四角)およびピン穴の位置を合わせて、ソケットを装着します。

○ソケットのピン穴にソケットに付属する『ピン』を装着します。

○ソケットのみぞ部にソケットに付属する『リング』を装着します。

○『リング』がしっかりと装着されていることを確認し、この状態でソケットが本体から外れないことを確認してください。



### ⚠ 警告

- ソケットに割れ・欠け・摩耗・変形がないか確認してください。  
ソケットが破損した場合、けがの原因になります。
- リングの著しい変形およびピンに曲がり・折れ・ヒビや割れがないか確認してください。  
ピン・リングは消耗品です。異常がある場合は新品に取り替えてください。  
ソケットの落下およびピンの飛び出しによるけがの原因になります。
- 装着後ソケットが確実に取り付けられているかソケットを引っ張って確認してください。  
確実に装着されていない場合、使用中にソケットが外れて落下し、危険です。  
ソケットの耐久力が低下します。  
けが・レンチ故障の原因になります。

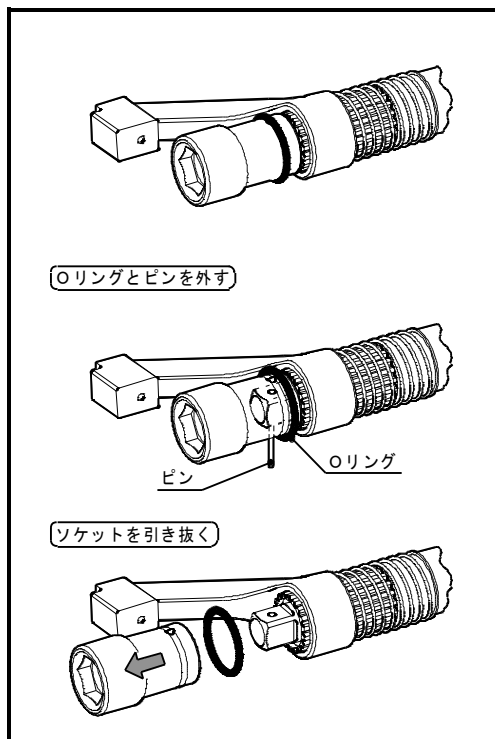
## ●ソケットの取り外し

(全機種)

○ソケット外周部に装着されている『リング』を外します。

○レンチとソケットに挿入されている『ピン』を外します。

○ソケットを本体から引き抜きます。



### ⚠ 警告

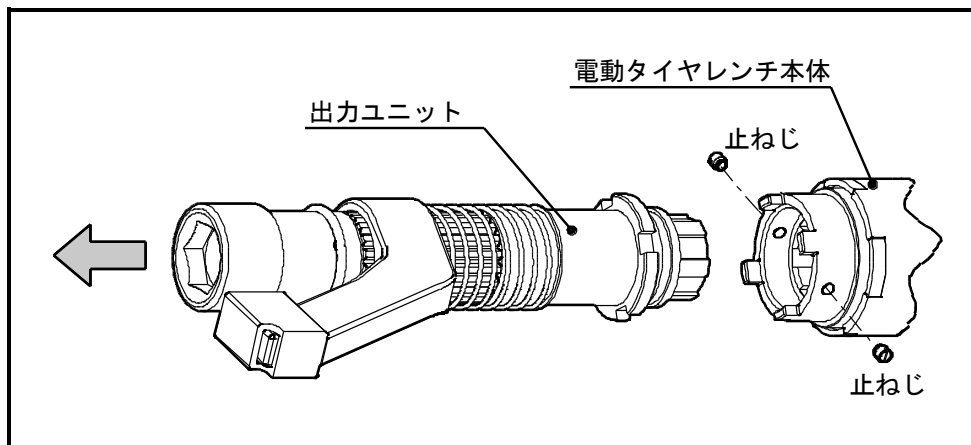
- ソケットに割れ・欠け・摩耗・変形がないか確認してください。  
ソケットが破損した場合、けがの原因になります。
- リングの著しい変形およびピンに曲がり・折れ・ヒビや割れがないか確認してください。  
ピン・リングは消耗品です。  
異常がある場合は新品に取り替えてください。  
ソケットの落下およびピンの飛び出しによるけがの原因になります。

## ●出力ユニット

### ① 取り外し方法

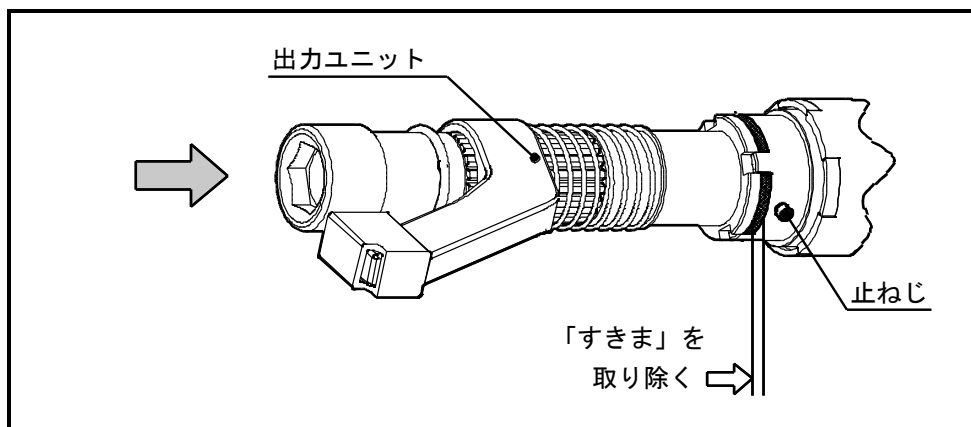
付属の差替スタビードライバー(－)で電動タイヤレンチ本体の先端にある2ヶ所の止めねじを緩め、出力ユニットを外します。

…止めねじは、完全に抜けるまで緩めますと紛失する恐れがありますので、ご注意ください。



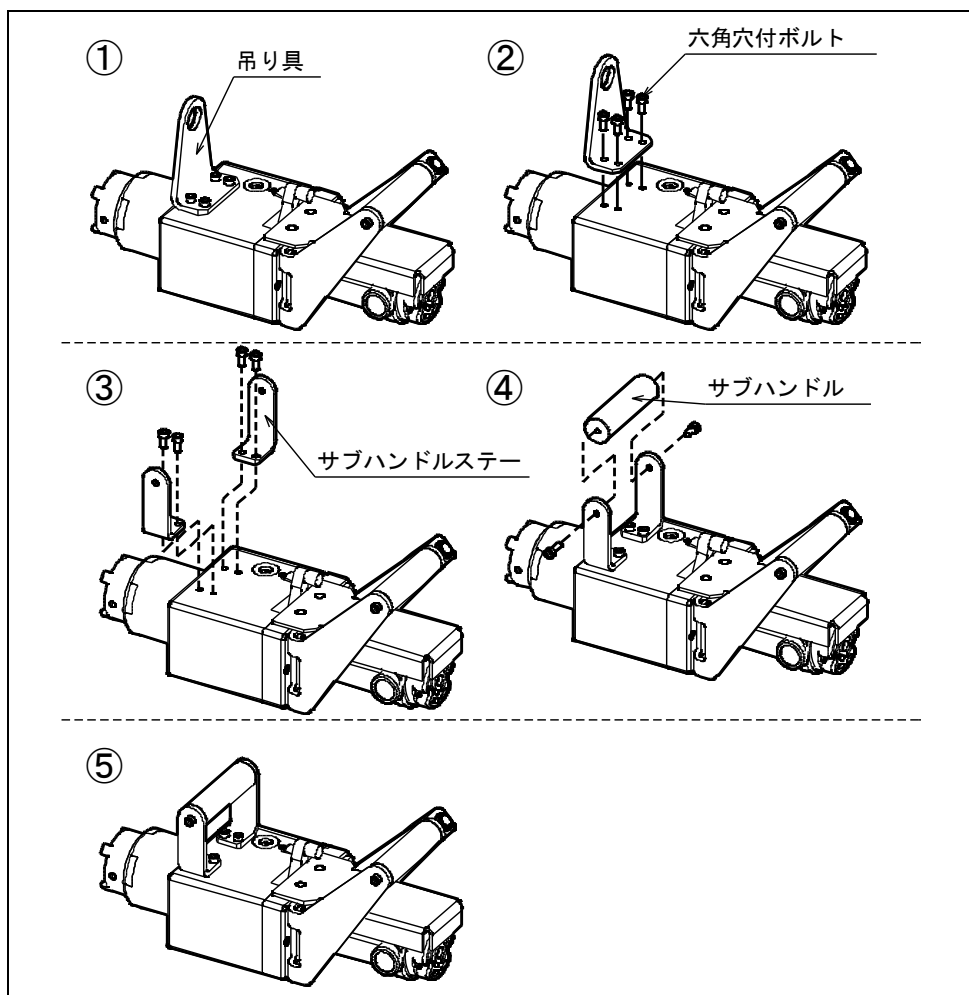
### ② 取り付け方法

出力ユニットの凸凹部を電動タイヤレンチ本体の凹凸部に、差し込みます。電動タイヤレンチ本体と出力ユニットとの結合部に「すきま」がなくなったことを確認し、この位置で2ヶ所の止めねじを確実に締付けてください。



## ●サブハンドルの装着方法

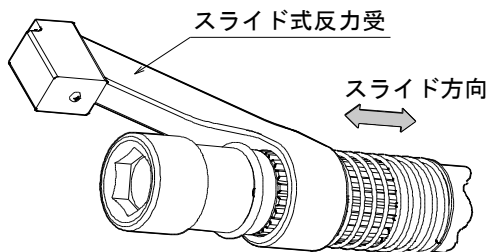
- ①電動タイヤレンチ本体の吊り具を取り付けてある六角穴付ボルト(4本)を取り外します。
- ②サブハンドルステーを①で取り外した六角穴付ボルト(4本)でハウジングに取り付けます。
- ③サブハンドルをサブハンドルステーの間に六角穴付ボルト(2本)で取り付けます。
- ④各六角穴付ボルトが確実に締め付けられているか確認してください。



## 6. 操作方法

### ●【8-90TWSA/8-90TWST】操作方法

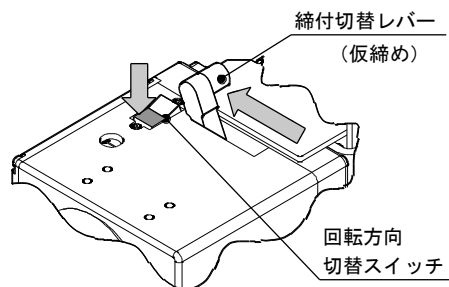
反力受の形状がレバータイプで  
スライド式のもので



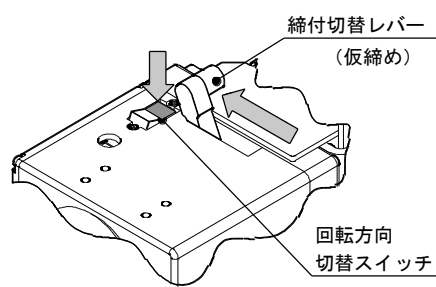
### ■仮締め方法

- ① 締付け切替レバーを「仮締め(低トルク)」側に倒してください。
- ② 回転方向切替スイッチでナット(ソケット)の回転方向を選んでください。

#### 左回転(L)



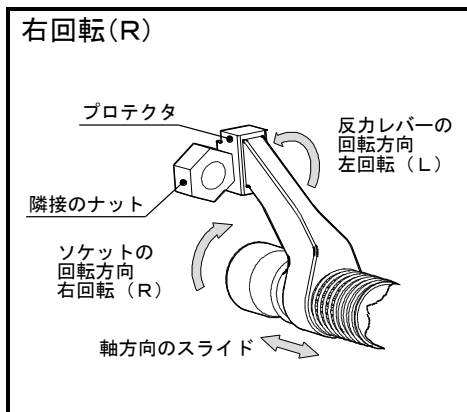
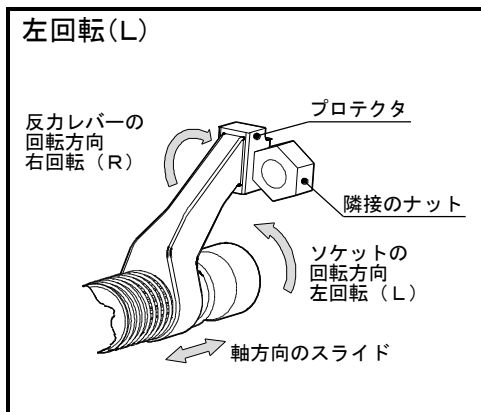
#### 右回転(R)





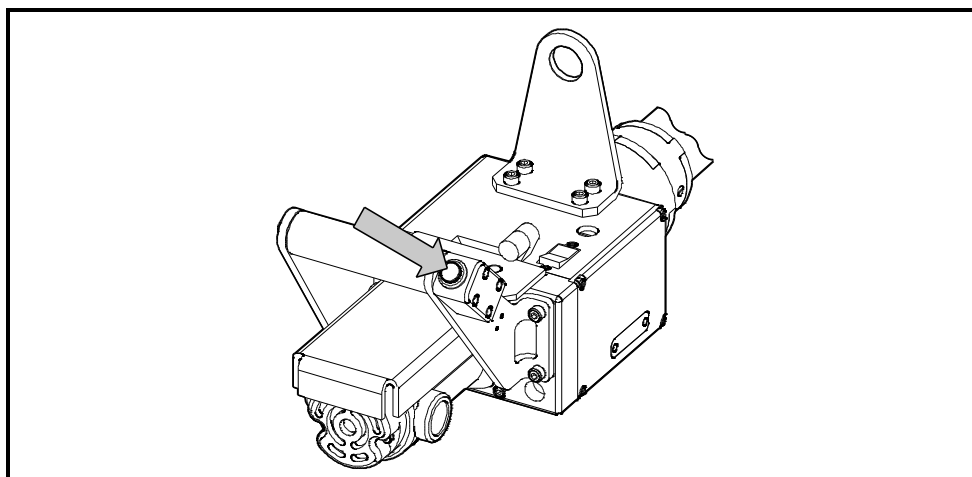
③反力レバーを隣接のナットまたは部材にしっかりと当て、ソケットを締付けるナットの奥まで完全に差し込んでください。

- \* 反力レバーは電動タイヤレンチ起動時にナット(ソケット)の回転方向に対し、逆の方向に回転しますので、隣接のナットまたは部材で反力が受けられるよう配慮し作業してください。
- \* 全長が短いソケットを使用される場合は反力レバーが軸方向にスライドしますので反力レバーをスライドさせてソケットをナットの奥まで完全に差し込んでください。



④スイッチを押して起動してください。

反力レバーが隣接のナットまたは部材にあたり、ナットを締付け始めます。



⑤締付けが進み、設定トルクに達すると電動タイヤレンチは制御回路が働いて自動停止します。

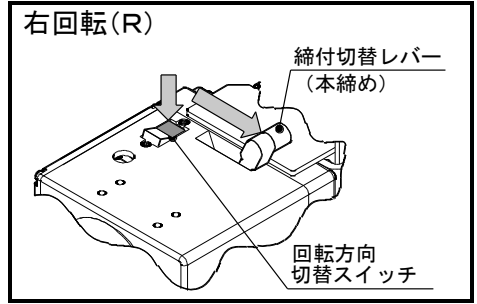
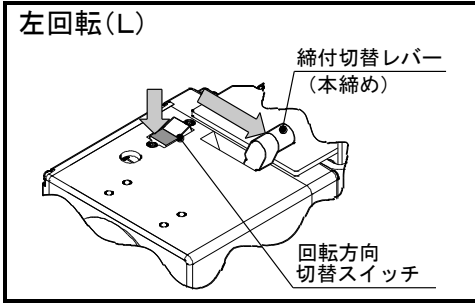
\* 締付け途中にスイッチを離すと正常な締付けは行われず設定トルクには達しません。

 注意

- 作業のときは、『右回転』『左回転』を間違えないよう、回転方向切替スイッチを再確認してください。
- 仮締めの出カトルクは固定されています。  
トルク設定ダイヤルでは変更できません。
- 1度締付けたボルトの2度締め(増し締め)はしないでください。  
締付け不良・ボルト／ナット／ホイールの破損・レンチの故障およびけがの原因になります。
- プロテクタが確実に取り付けられているか確認してください。  
ボルト／ナット／ホイールの破損・レンチの故障およびけがの原因になります。

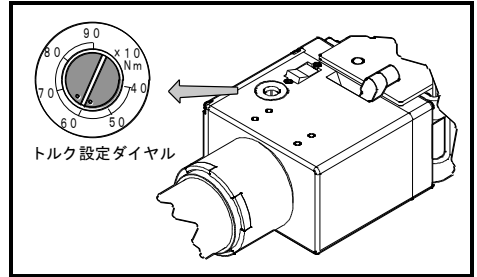
## ■本締め方法

- ① 締付け切替レバーを「本締め(高トルク)」側に倒してください。
- ② 回転方向切替スイッチでナット(ソケット)の回転方向を選んでください。



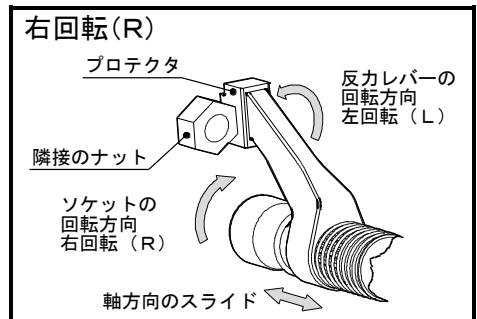
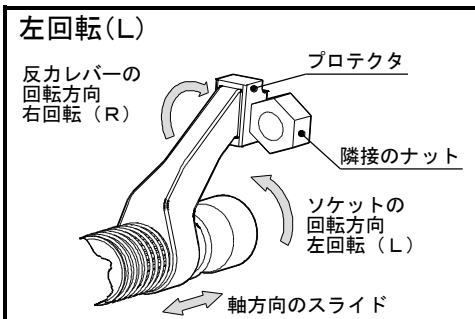
- ③ トルク設定ダイヤルを目標トルクに合わせてください。

\* トルク設定ダイヤルの目盛りは目安です。  
締付けトルクの確認が必要な場合は、  
ダイヤル形トルクレンチを使用して確認して  
ください。

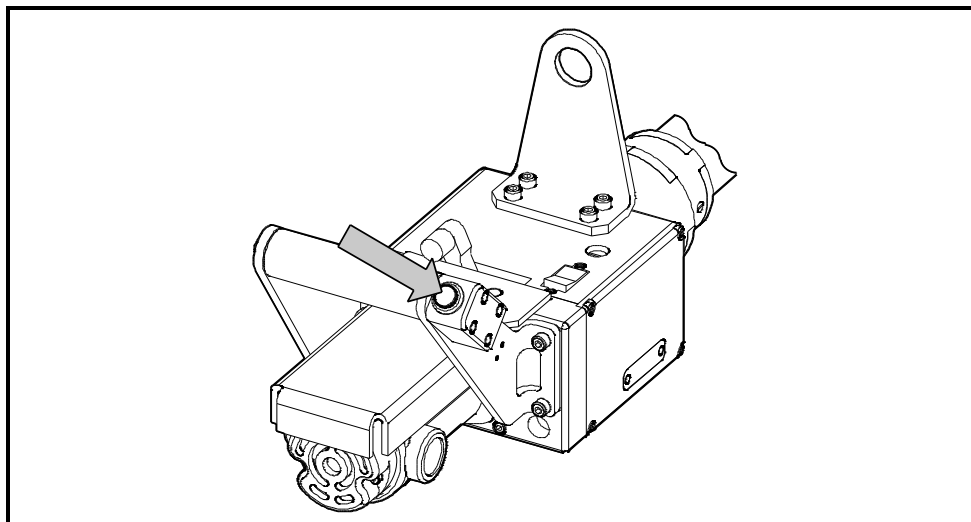


- ④ 反力レバーを隣接のナットまたは部材にしっかりと当て、ソケットを締付ける  
ナットの奥まで完全に差し込んでください。

- \* 反力レバーは電動タイヤレンチ起動時にナット(ソケット)の回転方向に対し、逆の方向に回転しますので、隣接のナットまたは部材で反力が受けられるよう配慮し作業してください。
- \* 全長が短いソケットを使用される場合は反力レバーが軸方向にスライドしますので反力レバーをスライドさせてソケットをナットの奥まで完全に差し込んでください。



- ⑤スイッチを押して起動してください。  
反カレバーが隣接のナットまたは部材にあたり、ナットを締付け始めます。



- ⑥締付けが進み、設定トルクに達すると電動タイヤレンチは制御回路が働いて自動停止します。

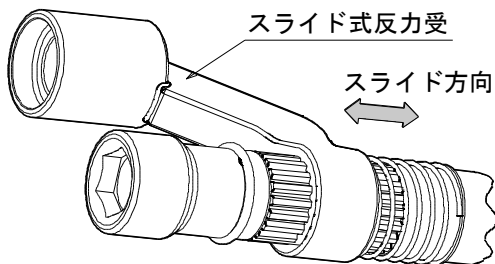
\* 締付け途中にスイッチを離すと正常な締付けは行われず設定トルクには達しません。

### **⚠ 注意**

- 作業のときは、『右回転』『左回転』を間違えないよう、回転方向切替スイッチを再確認してください。
- 車両メーカー各社の標準締付けトルクで締付けてください。  
標準締付けトルク以上で締付けた場合、ボルト／ナット／ホイールが損傷し、事故・破損・けがの原因になります。
- 1度締付けたボルトの2度締め（増し締め）はしないでください。  
締付け不良・ボルト／ナット／ホイールの破損・レンチの故障およびけがの原因になります。
- プロテクタが確実に取り付けられているか確認してください。  
ボルト／ナット／ホイールの破損・レンチの故障およびけがの原因になります。

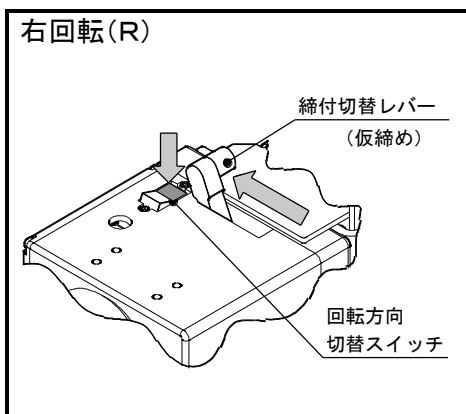
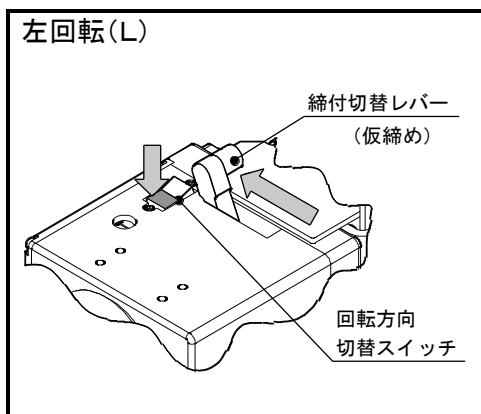
●【8-90TWSC68A／8-90TWSC68T】  
 【8-90TWSC10A／8-90TWSC10T】 操作方法

反力受の形状がカップタイプで  
 スライド式のものです。



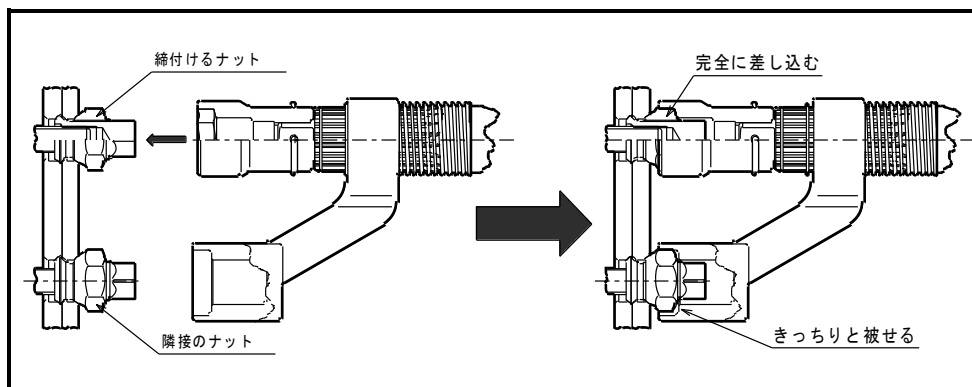
■ 仮締め方法

- ① 締付け切替レバーを「仮締め(低トルク)」側に倒してください。
- ② 回転方向切替スイッチでナット(ソケット)の回転方向を選んでください。



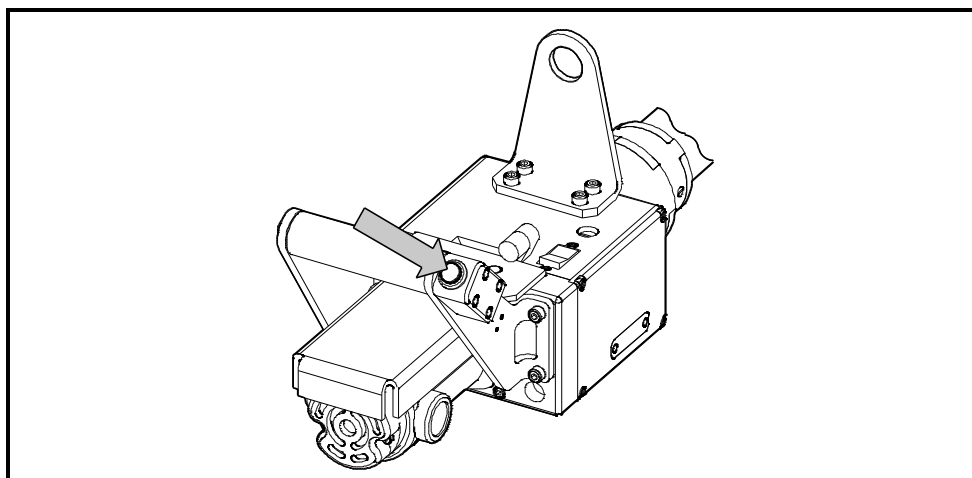
③反力受を隣接のナットまたは部材にしっかりと被せて、ソケットを締付けるナットの奥まで完全に差し込んでください。

- \* 反力受は電動タイヤレンチ起動時にナット(ソケット)の回転方向に対し、逆の方向に回転しますので、隣接のナットまたは部材で反力が受けられるよう配慮し作業してください。
- \* 全長が短いソケットを使用される場合は反力受が軸方向にスライドしますので反力受をスライドさせてソケットをナットの奥まで完全に差し込んでください。



④スイッチを押して起動してください。

反力レバーが隣接のナットまたは部材にあたり、ナットを締付け始めます。



⑤締付けが進み、設定トルクに達すると電動タイヤレンチは制御回路が働いて自動停止します。

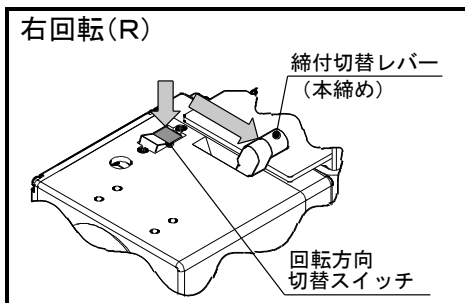
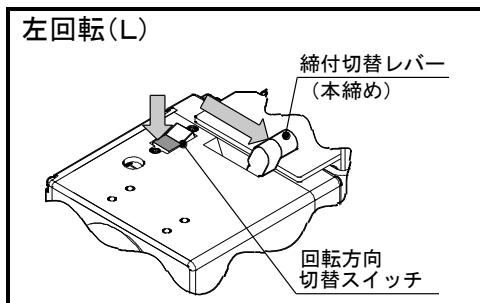
\* 締付け途中にスイッチを離すと正常な締付けは行われず設定トルクには達しません。

 注意

- 作業のときは、『右回転』『左回転』を間違えないよう、回転方向切替スイッチを再確認してください。
- 仮締めの出カトルクは固定されています。  
トルク設定ダイヤルでは変更できません。
- 1度締付けたボルトの2度締め(増し締め)はしないでください。  
締付け不良・ボルト／ナット／ホイールの破損・レンチの故障およびけがの原因になります。

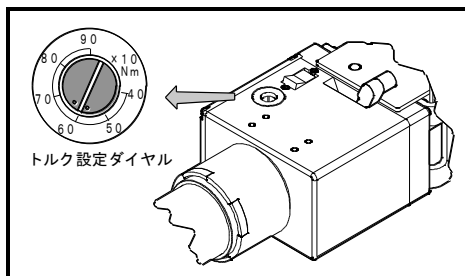
## ■本締め方法

- ① 締付け切替レバーを「本締め(高トルク)」側に倒してください。
- ② 回転方向切替スイッチでナット(ソケット)の回転方向を選んでください。



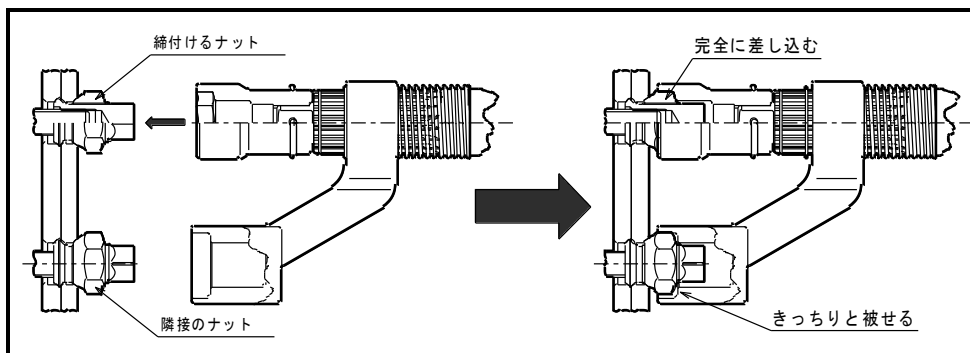
- ③ トルク設定ダイヤルを目標トルクに合わせてください。

\*トルク設定ダイヤルの目盛りは目安です。  
締付けトルクの確認が必要な場合は、  
ダイヤル形トルクレンチを使用して確認して  
ください。



- ④ 反力受を隣接のナットまたは部材にしっかりと被せて、ソケットを締付けるナットの奥まで完全に差し込んでください。

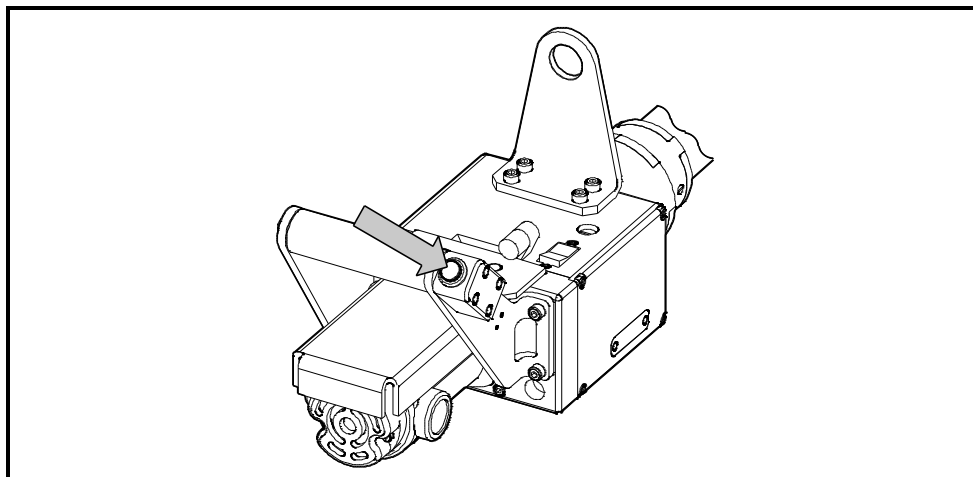
- \* 反力受は電動タイヤレンチ起動時にナット(ソケット)の回転方向に対し、逆の方向に回転しますので、隣接のナットまたは部材で反力が受けられるよう配慮し作業してください。
- \* 全長が短いソケットを使用される場合は反力受が軸方向にスライドしますので反力受をスライドさせてソケットをナットの奥まで完全に差し込んでください。



- ④ スイッチを押して起動してください。



反力レバーが隣接のナットまたは部材にあたり、ナットを締付け始めます。



⑤締付けが進み、設定トルクに達すると電動タイヤレンチは制御回路が働いて自動停止します。

\* 締付け途中にスイッチを離すと正常な締付けは行われず設定トルクには達しません。

### ⚠ 注意

- 作業のときは、『右回転』『左回転』を間違えないよう、回転方向切替スイッチを再確認してください。
- 仮締めの出カトルクは固定されています。トルク設定ダイヤルでは変更できません。
- 1度締付けたボルトの2度締め(増し締め)はしないでください。締付け不良・ボルト／ナット／ホイールの破損・レンチの故障およびけがの原因になります。

## 7. 保守点検

### ⚠ 警告

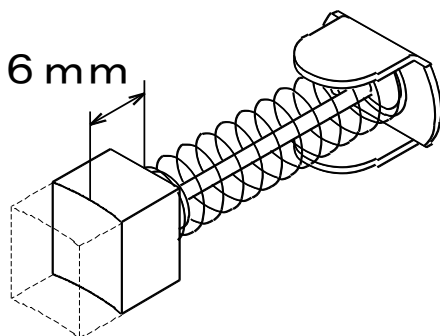
●保守点検するときはスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

○使用後または停電のときはスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

不意に起動し、感電・けがの原因になります。

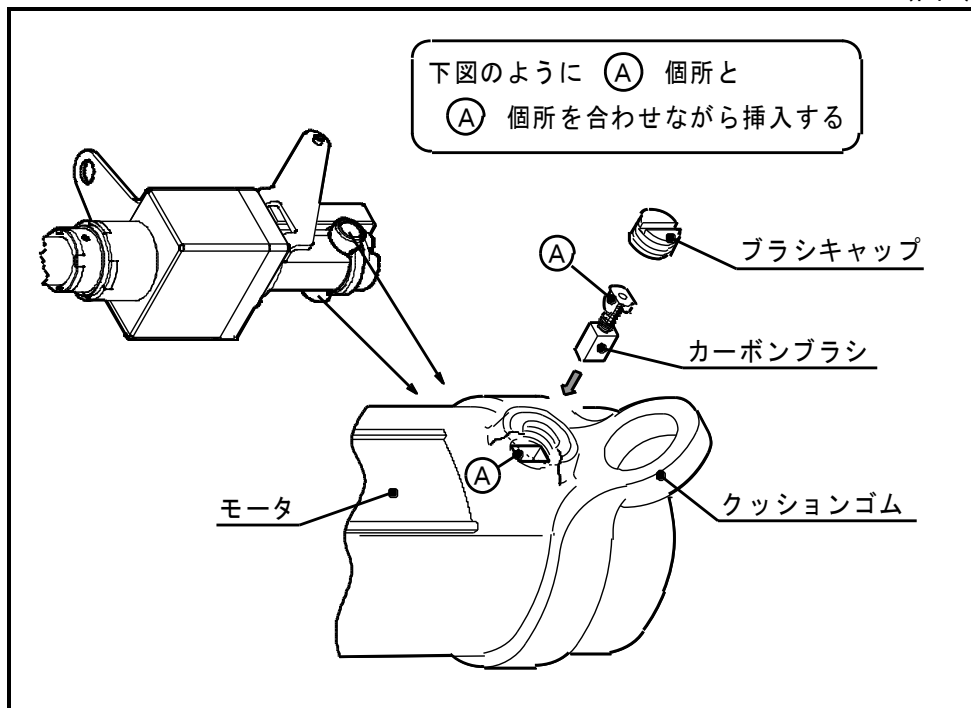
- ①ソケット部およびソケットとレンチの取り付け部周辺は、異物(ほこり等)が付着し易い箇所ですので、時々取り外して清掃してください。
- ②汚れを拭き取る場合は、ベンジン・シンナー・ガソリン等の有機溶剤で拭かないでください。ひび割れや変色の原因になります。
- ③モータの巻線部分には、キズを付けたり、油・有機溶剤などを付けたりしないよう注意してください。
- ④作業終了後は、ケースに入れて乾燥した場所に保管してください。
- ⑤カーボンブラシは定期的に点検し、〈図1〉のようにカーボンブラシの長さが 6mm 以下の場合には、当社指定のカーボンブラシと交換してください。  
※カーボンブラシは2ヶ所使用しておりますのでご注意ください。  
※本体型式により使用するカーボンブラシが異なる場合があります。  
ご入用の際は、電動レンチ本体の型式をご指定下さい。

〈図1〉



⑥カーボンブラシの交換は、〈図2〉のように正しく差し込んでください。

〈図2〉



⑦6ヶ月または3万本毎に、オーバーホールを受けてください。

なお、オーバーホールにつきましては、お買い求めの販売店または弊社営業所までお申し付けください(有償)。

## 8. 特 長

### 全機種

- ・ トルク制御回路が電動タイヤレンチ本体に内蔵されております。
- ・ 手動式2段変速機構を内蔵。
- ・ 右回転・左回転の切替が可能です。
- ・ 右回転・左回転どちらでもトルク制御が行えます。
- ・ 反力受がスライド式のため長さの異なるソケットも使用可能です。  
(ソケット全長70～110mmに対応します)

### 機種別

#### 8-90TWSA／8-90TWST

- ・ ホイールナットの中心間距離が90～120mmに対応します。  
(一部の車種を除きます)

#### 8-90TWSC68A／8-90TWSC68T

- ・ ホイールナットが6個もしくは8個のJIS方式の車両でホイールナットの中心間距離が109～111mmの車両に対応します。  
(一部の車種を除きます)

#### 8-90TWSC10A／8-90TWSC10T

- ・ ホイールナットが10個のISO方式の車両でホイールナットの中心間距離が103.5mmの車両に対応します。  
(一部の車種を除きます)

## 9. 仕様

型式	出力角 mm	電源 単相 V	最大 電流 A	最大 消費 電力 W	常用 最大 トルク N・m	トルク 制御 範囲 N・m	無負 荷回 転数 min <sup>-1</sup>	繰返 締付 け精 度 % ※	本体 質量 kg
8-90TWSA	25.4	100	13.5	1100	900	仮締め 約 250	仮締め 36	±5	14.5
8-90TWST		200	6.5						
8-90TWSC68A		100	13.5			本締め 400～ 900	本締め 12		15.2
8-90TWSC68T		200	6.5						
8-90TWSC10A		100	13.5			14.9			
8-90TWSC10T		200	6.5						

※繰返締付け精度とは、同じトルク設定・作業条件で締付けた場合の締付けトルクのバラツキを%で表したものです。

- 全機種に整流子モータを使用しております。
- 制御器は電動タイヤレンチ本体に内蔵しております。
- 本体質量には、ソケット・コード線は含まれておりません。

## 10. アフターサービスについて

- 取扱説明書・電動タイヤレンチ本体・付属品等に記載されている警告ラベルなどの注意書に従って正しくご使用ください。
- アフターサービスについての詳細につきましては、お買い求めの販売店、または弊社営業所へお問い合わせください。  
なお、お問い合わせの際は、製品番号・製造番号・購入年月日・電圧・故障状況などを詳しくご報告ください。

### ⚠ 注意

- 精度不良、および故障等によって重大な損害が生じると予想される場合は、事前に予備機などの代替手段を講じてください。





製造・販売元

**TONE**® **TONE株式会社**



営業企画部 〒586-0026 大阪府河内長野市寿町6番25号  
TEL(0721)56-1850 FAX(0721)56-1851

ホームページ <http://www.tonetool.co.jp> 電子メール [ko-eigyo@tonetool.co.jp](mailto:ko-eigyo@tonetool.co.jp)

本社・大阪営業所 〒556-0017 大阪市浪速区湊町2丁目1番57号  
TEL(06)6649-5982 FAX(06)6649-5983

札幌営業所 〒007-0840 札幌市東区北40条東19丁目2番12号  
TEL(011)782-4544 FAX(011)783-2711

仙台営業所 〒984-0037 仙台市若林区蒲町字原田南32番1号  
TEL(022)282-2161 FAX(022)282-2188

北関東営業所 〒373-0033 群馬県太田市西本町54番13号  
TEL(0276)20-6031 FAX(0276)20-6032

東京営業所 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿2丁目27番24号  
TEL(03)3446-3911 FAX(03)3446-3915

名古屋営業所 〒464-0845 名古屋市千種区南明町2丁目86番1号  
TEL(052)759-5967 FAX(052)759-5971

広島営業所 〒731-0111 広島市安佐南区東野1丁目18番21号  
TEL(082)832-3171 FAX(082)871-3456

福岡営業所 〒812-0893 福岡市博多区那珂3丁目27番17号  
TEL(092)411-7125 FAX(092)411-2620

●予告なしに改良・仕様変更をする場合があります。変更の場合、取扱説明書の内容が変わりますのでご注意ください。なお、取扱説明書は、ケース内に保管してください。



IMKI052



